

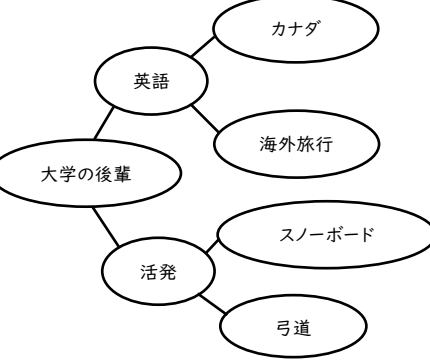
3 本時（第7時）の目標

仲間同士で尊敬する人物を紹介しあい、内容をよりよいものにすることができる。

4 本時の展開

() : 教師主導の活動 () : ペアやグループ活動 () : 個人の活動

段階	学習内容(分)	教師の役割	※指導上の留意点		
			◆評価【観点】		
導入	1. <u>Picture Describing</u> (3)	◇ペアで『guess who?』 クイズを行い、人物を描写する活動をさせる。	※英語での説明を目的とする活動なので、ジェスチャーを使わせないようにする。		
			※クイズの中で関係代名詞の復習を行う。		
			描写には関係代名詞の使用を強要せず、自然と仕えた生徒がいれば共有		
	2. <u>Today's Teacher</u> (5)	・教師役生徒が前に出てきて進行する。 (曜日、日付、天気の確認)	※元氣よく行わせる 温かい雰囲気の中で話をさせる		
		・教師役生徒は1分で『自分』をテーマにしたスピーチを行う。(聞き手はスピーチを聞きながら、メモをとる) スピーチの中での聞き手への質問に自信をもって答えさせる	◆要点をとらえて質問をすることができる		
展開		・聞き手は質問を即興で考えて発表し、教師役生徒は即興で答える。	【知識・技能】		
		質問に答えた後にもう一文追加で話す練習を日頃から	◆質問に対して適切に答えることができる		
			【知識・技能】		
	3. <u>Teacher Talk①</u> (4)	・ALT の映像 (オンラインで JTE と ALT がやり取りをしている設定のもの) をみせる。生徒は ALT の尊敬する人物を聞き取る。	※質問シートを参考に質問を考えることを促す。		
		質問には単語で答えさせず、英文で答えさせる訓練を日頃から	◆話の概要をとらえることができる		
	4. <u>めあての確認</u>		【知識・技能】聞くこと (イ)		
	仲間同士で尊敬する人物を紹介しあい、内容をよりよいものにすることができる。				
	5. <u>前時で作成したマングラ・チャート</u> <u>をもとに、階層式マッピングを作成</u> (3)	・机間指導をする。 ・JTE は Teacher Talk②で使用するマッピングを板書する。	・マングラ・チャート 例		
			英語	けしごむはんこ	海外旅行
			弓道	なぜ尊敬するのか	活発
			文学	情熱	スノボ

ま と め	6. <u>ペアで内容を確認しあう</u> (2) 7. <u>Teacher Talk②</u> (3) 7.5. 階層式マッピングに動詞とディスコースマーカーを記入 8. <u>個人で発表練習</u> (3) 9. <u>教師の足場架け</u>※ (1) ※生徒へのアドバイス 10. <u>ペア練習①</u> (3) 11. <u>足場架け&作戦会議</u> (2) 12. <u>ペア練習②</u> (3) 13. <u>足場架け&作戦会議</u> (2) 14. <u>小グループで発表・質疑応答</u> (10) 15. <u>振り返り・次回予告</u> (6)	・生徒にペアの階層式マッピングを見ながら、アドバイスを伝えさせる。 ・JTE が自分の尊敬する人についてのスピーチを行う。生徒に即興で質問を考えさせ、追加で出た新情報を階層式マッピングに加えていく。 ・個人で階層式マッピングを見ながら、発表練習を行わせる。改善のための時間を与えた後、2回目は階層式マッピングを見ずに発表練習を行わせる。(浮き輪外し※) ※全体会にてご講演 改善する時間のはじめに次の練習ではノートを閉じることを事前告知 ・良かった点、気づいた点を伝える。 ・ペアで発表練習を行わせる。(横ペア) ・良かった点や気づいた点を伝えあい、発表内容をより良いものにする。作戦会議の時にペアへのアドバイスを付箋に書いて渡しあう。 付箋に書いた内容を全体で共有すべきだった ・ペアで発表練習を行わせる。(前後ペア) ・良かった点や気づいた点を伝えあい、発表内容をより良いものにする。作戦会議の時にペアへのアドバイスを付箋に書いて渡しあう。 内容面で especially を使っていた生徒がいたが、スルーしてしまったのが残念 ・発表終了後、質疑応答を行う。 時間が足りず、質疑応答の時間が確保できなかった。 ・本時でわかったことやできたこと、仲間から学んだこと、モヤモヤしたこと等を日本語で発表させ、その内容を振り返りシートに記入をさせる。 ・今日の感想を伝える。 振り返りにおいて、アイコンタクトやジェスチャーだけでなく、内容面でスピーチの質を高める手だて（ディスコースマーカーの活用など）がもっとあればよかったと感じた。 ◇次回全員発表することを伝える。	・マンダラ・チャートは埋めることが目的ではなく、自分が紹介したい内容を書くように伝える。 ・階層式マッピング 例  ※机間巡視をして表現に困っていれば、ヒントを与える。良い表現がいれば「足場架け」で全体に共有する。 ※発表練習は階層式マッピングを見ずにするよう促す。(ちらみは許可) ◆仲間や教師のアドバイスを取り入れて発表をより良いものにできているか【主体的に学習に取り組む態度】 ※発表中は階層式マッピングを見ずにするよう促す。 ◆仲間や教師のアドバイスを取り入れて発表をより良いものにできているか【主体的に学習に取り組む態度】
-------------	--	---	--

